

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	06	0402	土地改良事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	生産基盤の整備					
対象	笹間地区農道利用者					
意図	農道交通の安全性や快適性を向上させる					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○農道舗装事業負担金（旧和賀川土地改良区施行）						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 負担金支払先	箇所	計画		1	1	
		実績		1	1	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 未償還元金	千円	目標		5,728	4,284	
		実績		5,728	4,284	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
債務負担契約に基づく		
目的妥当性	公共関与の妥当性	債務負担契約により事業費の一部を負担
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	債務負担契約により支払義務のある未償還元金を償還しており、適切な手続きに基づき予算執行している
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	債務負担であるため事業費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある	支払業務のみであり人件費の削減余地はない
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	債務負担契約により市で負担すべき割合・金額を償還しており適正である
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
債務負担契約により適正に負担している		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 吉越毅彦 内線 573
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	06	0402	土地改良事業

単位：千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	1,644	1,644		
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	1,644	1,644	

事業期間	単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 5 年度 ~ 平成 31 年度]
------	-------	----------------------------	----------------------

部経営方針における目標
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯
農産物の集出荷や生産資材の運搬を円滑にし、荷痛み防止のため。また、農村生活環境の向上のため。

事業概要
○農道舗装事業負担金（旧和賀川土地改良区施行）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
債務負担契約に基づき償還終了まで負担していく

《事業手法の詳細》

○農道舗装事業負担金 1,644千円

土地改良区施行農道舗装整備事業に係る借入償還金の債務負担

事項	支出先	期間	H27支出額	H28以降支出額
農道舗装事業負担金 (管内第一・清水第二地区)	岩手中部土地改良区 (旧和賀川土地改良区)	H5-H31	1,644	4,584